

平成 28 年 2 月 9 日

報道機関 各位

泉南市秘書広報課長 古木 孝彦
(広報担当：藤原)

北朝鮮の「人工衛星」と称する弾道ミサイル発射に対する
抗議文について

標記の件につきまして、泉南市は、平成 28 年 2 月 7 日に「人工衛星」と称する弾道ミサイルを発射した朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）に対し、別紙のとおり抗議文を送付しますので、お知らせします。

本件連絡先
泉南市人権推進部人権推進課
担当：梶本、山岡
TEL：072-480-2855
Mail: jinken@city.sennan.lg.jp

朝鮮民主主義人民共和国
国防委員会第一委員長 金正恩 殿

抗議文

この度、貴国が「人工衛星」と称する弾道ミサイルを発射したとの報道に接し、驚愕するとともに激しい憤りを感じている。

泉南市は1984年に「非核平和都市」を宣言し、世界唯一の被爆国の自治体として、また住民一人ひとりの命と暮らしを守るため、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を訴えてきた。

しかし、2016年1月6日の水爆実験の実施に続き、今回、「人工衛星」と称する弾道ミサイルの発射を強行したことは、まさに国際社会が様々な取り組みにより、貴国に対し核実験や弾道ミサイルの発射等の挑発行為の自制を促してきた努力を根底から覆す行為であり、弾道ミサイル技術を使用したいかなる発射も行わないことを貴国に義務付けた国連の安保理決議に対する違反は明白である。

また、我が国の平和と安全に対する直接の脅威であると同時に、国際社会全体の平和と安全への願いを冒瀆する重大な挑戦であり、いかなる理由によるものであっても正当化の余地はなく、その無謀な暴挙は断じて許されるものではない。

よって、泉南市は、核兵器の廃絶と世界の恒久的な平和を願う「非核平和宣言都市」の理念に基づき、貴国の「人工衛星」と称する弾道ミサイルの発射行為に対し、断固抗議する。

2016年2月8日

日本国大阪府泉南市長 竹中 勇人